

国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区  
 [指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(4.0 + 3.5) / 2 = 3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

| 番号 | 評価指標                          | 進捗度  | 評点 |
|----|-------------------------------|------|----|
| 1  | 国際医療交流の推進                     | 125% | 4  |
| 2  | 訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 | 121% | 4  |

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 0 + 4 \times 2 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4.0$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.3 + 2.7 + 3.3) / 3 = 3.1$

3.1

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.3

- ・「メディカルりんくうポート」の開設、「医療通訳」の育成・配置、「まち処」への「地域通訳案内士」の配置等により、特区としての方向性が定まり、実績が蓄積されてきたものと評価できる。
- ・地域通訳案内士の養成やホテルの誘致など外国人客の受入体制の強化は行われているが、外国人にとっての観光的魅力を増やす(観光的価値の創造)施策が見当たらない。地域通訳案内士が活躍できる新たな魅力あるコンテンツの発掘・整備が必要である。
- ・地域通訳案内士の活動件数が低いにも関わらず、訪日外国人の宿泊者数と満足度の数値は向上しているため、地域通訳案内士の活動分野を特化してはどうか。
- ・医療とツーリズムの連関があまり見えない。目標としての外国人医師等交流の内容がやや不透明である。また、外国人延べ宿泊者数については、特区事業との関係が明確ではない。
- ・今後は、「医療通訳の費用負担のあり方の検討」、「外国人客についてきめ細かな客層分析と客層別の魅力訴求」、「隠れた観光資源としての泉州タオルの積極的な活用」を進めることが求められる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.3

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.8+3.1+3.3 \times 2) \div 4 = 3.4$

3.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。